

# KSKR

# 土曜日



## NPO 法人つくし通信 No.62号

### 目次

1. 表紙
2. サロン存続のための取り組み状況のご報告 2
3. 2023年度サロン運営についてのご報告
4. 上京サロンの歌
5. 上京区の小さな集い
6. 忘年豪華お弁当食べよう会/初詣
- 7.~9. メンバーのつづやき
10. 冬のボーナスキャンペーン報告  
きょうされん第46次国会請願署名
11. 会費納入・寄付のお礼・お願い
12. 今後の予定・編集後記

## サロン存続のための取り組み状況のご報告 2

今回も、上京サロン「はんなり上京」存続のための取り組み状況のご報告を行いたいと思います。

冬のボーナスキャンペーンでも取り組んだお礼の品付き寄付に、この度もたくさんの反響をいただきました。おかげさまで 59 名の方にお申し出いただき 178,000 円のご寄付が集まりました。夏と冬、それぞれのボーナスキャンペーンを合わせると、計 167 名、472,000 円のご寄付が集まっています。

また、「上京区の小さな集い」のご縁から社会福祉法人七野会様が独自に募金活動を行っていただき、職員や市民の方、イベントの売り上げから 17,016 円のご寄付をいただきました。他、個人の方 5 名からもご寄付をいただき、これまでのところ、総計 792,581 円のご寄付が集まっています。

前号でお知らせしました「上京サロン存続を求める署名」につきましては、皆さまのご協力のもと、1697 筆の署名が集まりました。活動を開始したのが 9 月末でした。それから 2 か月ほどの期間で、これほど多くのご賛同を得ることができました。11 月 22 日には高城実行委員長、担当の今井職員、そしてサロン利用者中川博さんの 3 名で京都市管轄部局へ訪問し、市職員に直接、手渡しました。中川さんからは「サロンが無くなったら、行くところがなくなる。家で悪いことばかり考え、健康状態が悪くなる。市として責任を持って残してほしい」との切実な声を届けていただきました。市職員からは「短期間でこのような数の署名が集まっている事実について、大変重く受け止めている」との言葉がありました。

ご寄付や署名活動にご協力いただきました皆さま、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



←お礼の品図柄です。  
つくしハウス利用者や職員が笑顔  
テーマにイラストを描きました。  
T シャツやエコバッグの絵柄になりました。

## 2023年度サロン運営についてのご報告

次年度（2023年度）の運営につきまして、NPO 法人つくし理事会において、以下の通り、決定いたしましたことをご報告いたします。

### 2023 年度（4月以降も） 上京サロン「はんなり上京」は運営を継続します。

2022 年度から事業費が見直され、当サロンの1年間の賃貸料に相当する額 150 万円が削減されたことから、2023 年度の運営については厳しい判断をしなければならぬ状況でした。

しかしながら、これまで報告をしてきた通り、多くの方々の運営を継続してほしいとの声が、新聞記事の投稿、法人へのご寄付、サロン支援を望む署名、となって集まり、京都市へ訴える力となりました。他機関との要望活動、独自の働きかけにより、厳しい現状をお伝えした上で、皆さまのお声を届けたところ、次年度から予算を含めた事業改善を検討していただけることになりました。

これらの状況に鑑み、京都市の事業内容が確定するのは3月以降ですが、法人としては確定前に運営継続を決定し、誰もが安心して過ごせる「居場所」の確保を行うことにしました。次年度の予算等につきまして、京都市から説明があり次第、皆さまへ詳細をご報告いたしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

（上京こころのふれあい交流サロン事務局）

上京サロンの利用者の H.N さんが、上京サロンの歌を作ってくれました。上京サロンの普段の風景が目に浮かんでくるようで、サロンという場所を大切に思う H.N さんの思いが伝わって来ます。「誰か曲付けてくれたらええな！」と H.N さんはおっしゃっていました。みんなでこの歌を歌える日が来るといいなと思います。

### 「上京サロンの歌」（歌詞）

H.N

仲間がいた コーヒー飲む人  
おはよう 寝ころぶ人  
優しさこめて ギター弾く人  
心がはんなり ぼくらと君ら  
語り合おう 口から出る言葉で  
サロン上京 心の広場

友らがいた まじり合える場所  
こんにちは 微笑む人  
くつろぎながら テレビ見る人  
心がはんなり ぼくらと君ら  
支え合おう かざりのない言葉で  
サロン上京 心の広場

心がはんなり ぼくらと君ら  
語り合おう 悪戯のない言葉で  
サロン上京 心の広場



## 第6回《2016.7.26 津久井やまゆり園の障害者殺傷事件》の被害者を悼む ～ 上京区の小さな集い～

2016年7月26日、神奈川県相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」で起きた障がい者殺傷事件から6年が過ぎましたが、わが国でも稀にみる極めて非道なこの事件は、国民に大きなショックを与えました。とりわけ、障がいのある人や家族はもちろん、私たち障害福祉施設職員や、高齢者の支援を担う者、介護施設で働く者にとっての衝撃は大きく、二度とこのようなことがあってはならないという思いを強くしてきました。

事件の翌年から毎夏上京区を拠点に活動する高齢者・知的障がい者・精神障がい者の支援施設からなる実行委員会が中心となって「追悼のつどい」を開催してきました。命日には毎年、上京区の地域の方々等100名余りが献花に訪れてくださり「以前から、この集いに来たかったです。こういう取り組みを京都でされていることが、とても嬉しいです。こういう取り組みが日本のあちこちでされるようになることを望んでいます。」「この問題は、私たちの毎日の暮らしのことだと思っています。これからも、続けてください。」「こうして毎年思いだすことができることが大事ですね。」といった声を届けて下さっています。

今年で6回目「七回忌」を迎え、初めて、2日間に渡ってのつどいの企画を準備しました。去る11月16日(水)には上京こころのふれあい交流サロンにおいて、DVD鑑賞と語り合いの場を持ちました。当日は当事者、社会福祉協議会等の支援者、市議会議員の方が参加され「人はその置かれる環境や、小さな働きかけにより変わることができる。成長し続けることができる。」と共有しました。

昨年、津久井やまゆり園に建てられた「鎮魂のモニュメント」の前の水鏡には「ともに生きる」との文字が刻まれましたが、海外では戦争により、毎日多くの方が犠牲となり、真逆の現実が目の前にあります。

コロナや平和の危機の中の今こそ、人と人とのつながりや、かかわりがより大切になっています。障がいや、病の有無、年齢にかかわらず、「誰も排除しない、わけへだてなく共にくらす地域づくり」を願い、取り組んできた私たちができる取り組みの一つとして、これからもこの活動を継続していきたいと考えています。

## 忘年豪華お弁当食べよう会

例年、12 月に開催している忘年会ですが、昨年に引き続き、今年もコロナの影響で開催する事が出来ませんでした。代わりに、豪華なお弁当を食べよう会を、12 月 27 日（火）に開催しました。

肉ちらしや天ぷら等、彩り豊かな、2 段弁当に、粗品を用意しました。

「お弁当が美味しかった」や「年末の大そうじに使えるような粗品で嬉しい」など、様々な感想を聞くことができました。

又、みんなで、例年のような忘年会を開催できる日が待ち遠しいです!!

（上杉）

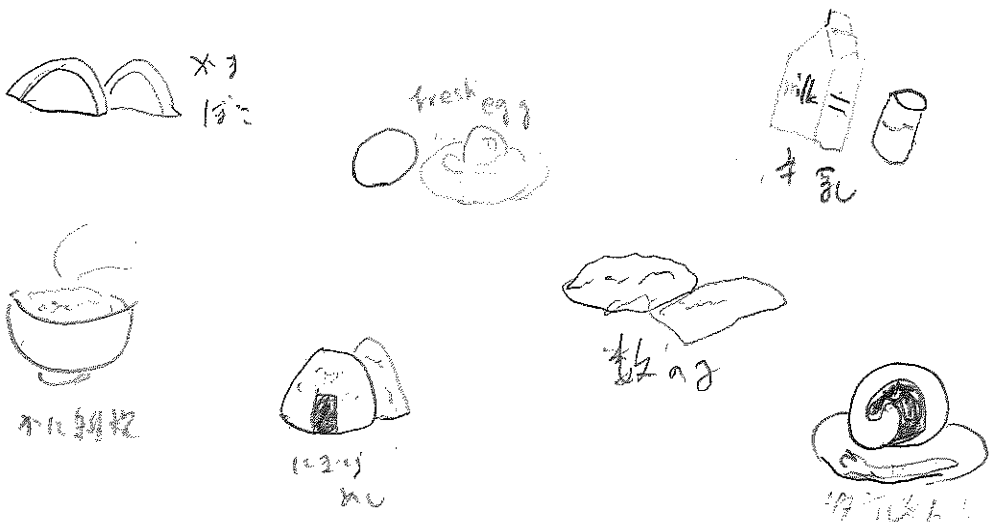
## 新年会

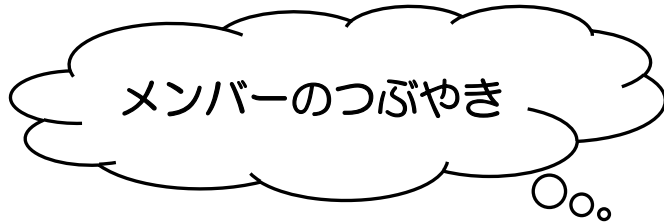
令和 5 年の始まりです。

令和 5 年 1 月 5 日の新年会で、3 年ぶりにつくしハウス特製のお雑煮が振舞われました。鶏肉とお野菜たっぷりのすまし汁で、みんなが『美味しい』と食べて下さっていたのがとっても嬉しかったです。その後は総勢 17 名で清明神社に初詣へ。何より驚いたのは、おみくじが従来のみくじ箱を振るのではなく、機械に手をかざし左右に振ると、タブレットの画面におみくじ箱を振る映像が流れて、番号が出る仕組みのおみくじが登場したことです。コロナ禍でも文明の利器を駆使してピンチをチャンスに変える人間の逞しさを感じました。

来年はどんな新年会ができるのでしょうかね。

（羽賀）





## 新メンバー紹介

つくしハウスに、また新たなメンバーさんが加わりました。これからどうぞよろしく願いいたします！

こんにちは。

昨年十月より入所しました M.K です。

入所して三ヶ月余りになりますが、判らない事ばかりで戸惑っています。

でもここへ通うのはすごく楽しみです。

少しずつ慣れて、いろいろおぼえて行けるといいなと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

M.K

## 「私と京都と病 その三」 H・N

京の都の玄関口であった羅生門跡を、少し下ったところに、プロテスタントの教会がある。

私は通勤のバス停に、この教会の「塩狩峠」の映画会案内をみに、俳優人に私の好きな、佐藤オリエが出演していたことで、私は、観行くことにした。

映画は、塩狩峠を暴走する列車を、止める為に、人柱となって、線路に飛び込んだクリスチヤンの青年を描いたものだった。私はその自己犠牲に驚いて、ショックを受けた。

それを機に、私はその教会に通うことになる。それは私の障害の理解者を求めたことでもあった。しかし、私は自分の理解者を求めながらも、教会の障害のハンディをもった人を理解しようとはしなかった。なんと自己中心的か！人は罪深い。

アメリカファストの社会現象。自己中心主義。映画の主人公は、どうなげくか…

「素人短歌 その2の13」 中川 博

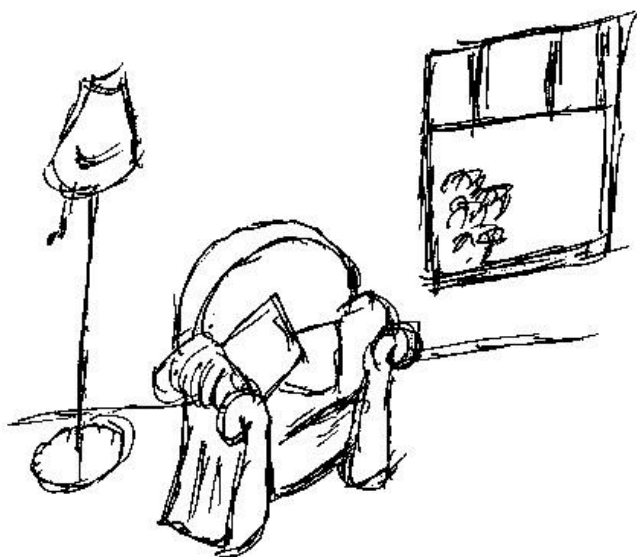
○ハツとしてそれはそうかも知れないとうなづき聞く成功者の弁

○クリスマスケーキの炎まつすぐに独り部屋に平和の祈り

○真夜中に君の影と話す我秋の雨よボシヨボシヨ降るな

○寝るまえに飲む「コーヒー」はなぜかしら苦い秘密の香りに満ちて

○テレビ観つ知識の欲に燃えている七十過ぎに若さもありて





～「書」の頁～

あさどりの  
くわ、  
うれしき  
日和かな

信は力  
なり  
七転び  
八起き

居眠り  
みかん  
テレビ  
こたつ

## 2022 冬のボーナスキャンペーンご報告

2022 冬のボーナスキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

おかげさまで今回は 206 件のご注文をいただき、売上額はなんと 2,322,480 円となり、昨夏・昨冬を上回る件数・金額となりました！心より感謝申し上げます！

ボーナスキャンペーンの売上額が上がると、ここで働く利用者さんにより多くのボーナス工賃をお支払いすることが出来ます。このことは利用者さんの生活に直結することになりますので、来年度も引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

（西田）

## 第 46 次国会請願署名に取り組んでいます

今年も毎年取り組んでいるきょうされん国会請願署名の季節になりました。新型コロナウイルスの流行以降、人と会う機会が減ってしまい、署名数も減少してしまっています。土曜ニュースを読まれている皆様にも、少しでもご協力をお願い出来ればと思いますが、第三種郵便には署名用紙を同封出来ないため、下記の QR コードから署名用紙をダウンロードして使用していただくと有難いです。よろしくお願い致します。



（福田）

★いつもご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます★

★2022/10/1～2023/1/31 にご協力して頂いた方です。（順不同）★

★総額¥77,750★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄付・物品を頂いた皆様
倉林明子様/廣瀬勝様/橋本東代子様/つくしハウスご家族の皆様/他	葛西繁様/木原輝久子様/丸井規博様/寺西笑子様/吉田一生様/三橋美和様/蔵田共子様/上田正人様/京都市職員労働組合様/つくしハウスご家族の皆様/他	神田千秋様/葛西繁様/三木一弘様/遠山照彦様/高城佳代子様/大野研而様/三橋美和様/南下建一郎様/つくしハウスご家族の皆様/他

※賛助会費を頂いた方で正会員の方につきましては、前号よりご寄付として掲載させて頂いています。ご了承下さい。

★2022/10/1～2023/1/31 に上京サロン存続の為のご寄付を頂いた方★

七野会様/高城佳代子様/遠山照彦様/汐崎啓子様/冬のボーナスキャンペーンにてサロン支援をして頂いた方々/他	(順不同)
---	-------

※寄付金総額については、2 ページに記載させて頂いております。

## 2022 度 NPO 法人つくし 正会員費・賛助会費納入 ご協力をお願い

NPO 法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力をお願い致します。

正会員費	2,000 円（年間）
賛助会費	1,000 円（一口）

※同封の振込用紙をご利用ください。口数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。

また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに○印をつけて頂ければ幸いです。

記入例：正会員費 年会費（年 2000 円）1 □ ¥2,000、

賛助会 会費（1 □ 1000 円）1 □ ¥1,000 寄付金 ¥2000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄付を頂ければ幸いです。

## <今後の主な予定>

3月1日～31日 定期面接

NPO 法人つくし つくしハウス

〒602-8141 京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114

TEL 075-366-6064 FAX 075-366-6065

Email onikai@iaa.itkeeper.ne.jp

HP <http://tsukushihouse.org/>

上京こころのふれあい交流サロン

〒602-8148 京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地

京都二条ハイツ 202

TEL/FAX 075-755-7017

編集人 NPO 法人つくし

〒602-8141 京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114

発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺真田山町 2-2 東興ビル4階 定価 50 円

## <編集後記>

今号の「サロンについての報告」でお伝えさせて頂きましたが、皆さまから頂いた署名やサロン利用者の声を直接届けたことで、京都市から「予算を含めた次年度のサロン事業改善を検討する」との返答をもらうことができました。今回のことで、社会的に弱い立場にある人の為に、社会を動かし変えていく、ソーシャルアクションの大切さを改めて感じました。諦めずに、行動を起こしていくことが大事ですね。

（福万）

